





# 日本原燃(株) 募集要項 (大学卒・大学院卒)

会社概要	社名	日本原燃株式会社			
	代表者	代表取締役社長 増田 尚宏			
	所在地	(本社・再処理事業所) 〒039-3212 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駸字沖付4番地108 (濃縮・埋設事業所) 〒039-3212 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駸字野附504番地22 (青森地域共生本部) 〒030-0802 青森県青森市本町1丁目2番15号 青森本町第一生命ビル内 (東京支社) 〒100-0011 東京都千代田区内幸町2丁目2番3号 日比谷国際ビル内			
	設立年	1980年	資本金	4,000億円	
	主な株主	全国9電力会社, 日本原子力発電(株)			
事業概要	①ウランの濃縮		③海外再処理に伴う回収燃料物質および		
	②原子力発電所等から生ずる使用済燃料の再処理		④低レベル放射性廃棄物の埋設 ⑤混合酸化燃料の製造 ほか		
従業員数	2,744人 (2018年4月1日現在)				
勤務条件等	初任給	[大学院卒] 232,000円 [大学卒] 207,000円 (2018年4月新卒初任給(月額))			
	諸手当	通勤交通費(全額支給), 時間外手当ほか 昇給 年1回 賞与 年2回			
	勤務時間	通常勤務 8:40~17:20 休憩:12:00~13:00 別に交替勤務あり			
	雇用形態	入社後、原則として3ヶ月間の試用期間を経て社員に採用			
	休日	土曜日, 日曜日, 国民の祝日, 年末年始(12/29~1/3), 労働祭(5/1)			
	休暇	年次有給休暇(1年目15日, 2年目から20日), 特別休暇(夏季, 結婚, 出産, 忌服他) 上述のほか、傷病・育児・介護の使用できる「安心・ゆとり休暇」積立制度あり。			
	福利厚生	独身寮・社宅完備, 財形貯蓄制度, 住宅融資制度, 各種社会保険, 慶弔金, 保養施設(自社・契約), カフェテリアプラン, 厚生行事ほか			
	休職制度	育児・介護に係る休職・短時間勤務, 傷病休職ほか			
	社員教育	・研修制度(入社時, 階層別, 資格取得, 専門技術等) ・自己啓発支援(合格祝金, 東北大学大学院工学研究科社会人特別選抜等への修学支援等)			
	その他	・3年間の新卒離職者数:4/285人 (2018年4月1日現在) ・有給休暇年間取得平均日数:12.8日 *その他項目についてはHP参照			
勤務地	青森県六ヶ所村, 青森市, 東京都千代田区	 2015年8月5日、次世代育成支援対策推進法に基づき、厚生労働省より「子育てサポート企業」として認定されました。			
募集要項	職種	事務総合職	採用予定数	現在未定(昨年実績:技術総合職45名・事務総合職8名)	
	業務内容	事務総合職:企画, 広報, 報道, 法務, 総務, 人事, 労務, 経理, 資材, 契約等			
	対象学科	事務総合職:学部学科不問			
	応募	応募条件	・2019年4月から2020年3月までに卒業・修了(予定)の方 ・2016年4月から2019年3月までに卒業・修了された方		
		応募方法	以下の採用担当までメールにてご連絡下さい(応募書類不要)。応募方法の詳細等をお伝えいたします。 担当者名 松下 啓介(まつした けいすけ) e-mail keisuke.matsushita@jnfl.co.jp		
選考	応募書類	エントリーシート, 成績証明書, 卒業(修了)見込証明書(大学院および既卒の方は卒業証明書)			
	一次選考	エントリーシート, 適正検査, 応募書類, 面接			
最終選考	面接				
会社説明会	札幌, 青森, 仙台, 東京, 名古屋, 大阪, 福岡にて開催。(予定) ※開催日時・予約方法は、リクナビ2020およびマイナビ2020にて公開予定。				
その他					

管理部門

# 社内情報の取りまとめ役を通じ、 会社への理解が深まっていく 喜びを実感。

業務管理室 総務部 文書グループ ※取材当時

山田 大子  
(2009年入社/法律系)



## 所属部署の役割

### 企業法務や社内文書管理など幅広い役割を担う

文書グループは、株主総会・取締役会の事務局、社内各部署からの法律相談などの企業法務サービス、社内ルールや文書の取扱い方法などの総括管理のほか、社内報の編集など、さまざまな業務を担当しています。そのなかでも各部署からの法律相談は重要な仕事の一つです。私はまだ上司の指示のもとに法令や判例などを調査するのが精一杯ですが、法学部出身ならではの知識と経験を活かしつつ、当社の実務に則した法律知識を増やしていき、いずれは法律相談にも対応できるようになりたいと思っています。

## 現在の仕事

### 社内報の編集を通じて社内の一体感を醸成する

私の主担当業務の一つに社内報「げんねん」の編集があります。当社は幅広い事業を展開しているため、各事業部の取り組みが他の事業部に伝わりづらいという側面があります。そこで、社内報を通じて各事業部の最新情報を全社員、さらにはOBやその家族に発信し、会社の一体感を醸成するのが私たちの役割です。自分が携わった一冊が、多くの社員の手が届くことに喜びを感じる反面、見た人がどう評価するのかとプレッシャーも感じています。

社内報の編集には、社内の全事業部の業務に対する知識が求められます。大変ではありますが、日々の仕事を通じて会社の全体像が理解できていく実感が、大きなやりがいとなっています。

## 最近の成功事例

### 社長インタビューを通じて自身の成長を実感

社内報の編集に当たっては、より読者の興味を引きつけられるよう、自分なりに工夫を凝らしています。最近では、社長インタビューを企画したところ、上司の賛同も得られて実現する運びとなりました。自分の携わった企画が実現した喜びもつかの間、いざ取材、そして原稿作成となると、談話を読み物にする難しさを痛感しました。主観が入り込まないよう、かつ言葉の真意が伝わるよう原稿を仕上げるのは大変でしたが、「社長の想いを読者に正しく届けたい」という使命感もあって、最後までやり抜くことができました。

結果として、普段よりも多くの部数が求められ、多くの方々に目を通していただくことができ、とても励みとなりました。

## 山田のある1日

**6:30** 起床  
朝食後、身支度をしたら近くのバス乗り場へ。

**8:30** 出勤  
まずはメールチェック。その後、図書室に配架する電子書籍を印刷するなど、その日の仕事の準備を。

**8:40** 朝礼  
ラジオ体操の後、グループでの朝礼。

**9:30** 編集業務  
社内報の編集に取りかかる。制作会社から届いたデータをチェックして、修正やレイアウト変更を指示。

**10:30** 社内打ち合わせ  
規程改正について他課の担当者と打ち合わせ。改正の趣旨などを伺い、改正案をお預かりして内容確認。

**12:00** 昼食  
食堂で同期の仲間とお昼ご飯。

**13:00** 編集業務  
社内報の修正を確認。取材に向けて質問事項などの最終調整。

**14:00** 取材  
先輩とともに社外取材へ。インタビューをしつつ写真撮影。取材相手の方は初対面のため最初は緊張したものの、話が弾んで興味深い話をたくさんしていただいた。

**16:30** 帰社  
ボイスレコーダーに録音したインタビュー内容を文字起こし。内容を把握しつつ、どんな記事にするか検討。

**17:20** 業務終了  
身支度をしてバスに乗り帰宅。

**19:00** 入浴  
妹とろっかぽっかへ。湯船に浸かってリラックス。

**20:30** 夕食  
長風呂で体力を消耗したせいか、ご飯がよけいっそうおいしく感じられる。着が止まらない。

**22:00** 就寝  
今日も一日頑張った。明日に備えてぐっすり。

# 数百ページにのぼる英文契約書の 締結を通じて海外の事業者との 協力関係を強化する。

経営本部 国際業務部 国際業務グループ  
兼 地域・業務本部 総務部 法務グループ ※取材当時

中村 岳史  
(2010年入社/法学系)



## 所属部署の役割

### 海外との協力関係を強化する仕事

私が所属している国際業務部は、2016年6月に海外との協力関係強化を目的として設置されました。その名の通り、原子力事業を推進する海外の事業者との協力推進や、海外の関係者との意思疎通が国際業務部の役割になります。

## 現在の仕事

### 数百ページもの契約書を確認

現在は、海外との契約に関する業務を担当しています。ルーティンで行う小さな契約も多々ありますが、数年がかりで締結するような大きな案件もあります。今もまさにそのような大きなプロジェクトの真っ最中です。もともと法学部出身で、以前は総務部法務グループにいたため、契約書そのものには慣れていますが、今取り扱っている言葉は当然ながら英語です。数百ページにのぼるため、外国の弁護士の方の協力が欠かせません。交渉のためにたびたび海外に出張しますが、英語が得意なわけでもないので、日々四苦八苦しながら仕事に取り組んでいます。

## 仕事のポイント

### 交渉事は“誠意をもって主張する”ことが大切

契約の締結は文化が異なる相手との交渉ですので、相手の主張を理解するのに苦労することもあります。当然国によってそれぞれ法律が異なりますので、その国の弁護士に教わりながら業務を進めていく必要もあります。大変な仕事ではありますが、仕事を通じて日本国内ではできない経験ができ、大いに見識を広めることができました。

また、20代で海外の人たちと仕事ができるのは大変幸運だと思っています。とくに、今一緒に仕事をしている外国人の弁護士は経験豊富で、かつ創造力が非常に豊かです。私たちが困っている時にさまざまな提案をしてくれ、まるで魔法かと思うほどです(実際、いつも結果的に彼が思い描いたようにコトが進む)。

日本人同士の交渉と違い、一般に、外国人との交渉は非常に厳しいやりとりになることがしばしばあります。弁護士同士の議論を聞いていても「そこまで言うのか」と思うこともしばしばですが、感じるのは自分の主張をはっきり述べるのが大事だということです。日本人同士のよう「言わなくてもわかるでしょ」というのは通用しませんし、誤解の元になります。

こうした経験を通じて、主張というのはエゴを通すことではなく誠意を尽くすことだと学びました。相手に対して厳しい主張であったとしても、お互いのためになるゴールだと誠意を尽くして説明すれば、相手もそれを理解しようとするし、こちらの提案に応えようとしてくれます。それはどこの国であっても同じだと思います。

あと、これは仕事のポイントではありませんが、海外で感じるの、日本原燃は日本で考えられているよりも、世界からより大きく注目されているということです。ですから、当社は民間企業ではありますが日本代表として交渉しているという自負が生まれます。今後も海外との接点が多くなると思いますので、ぜひ若い皆さんたちと力を合わせて世界の舞台で仕事をしていきたいと思っています。

## 中村のある1日

6:30 起床  
起床後、朝食。量は少なくとも朝食を取るのが大事。

7:30 通勤  
通勤バスで約30分。英語の録音を聞いてリスニングのトレーニング。

8:40 始業・朝礼  
その日の会議、交渉の段取りチェック。

9:00 会議の資料準備  
役員が何を気にしているか、交渉相手とどのような議論をするか想像しながら資料を準備。念入りの段取りが効果的な仕事のカギ。

10:00 役員を含めた社内会議でプロジェクトの対応方針、契約内容の検討  
交渉前にはまず社内の方針決定。当社として譲れないのは何で、何は譲歩できるのか。役員を含めて議論。

13:00 弁護士へ当社方針を連絡  
午前中に決めた方針をどのように理屈付けるか検討。外国人相手だと日本人相手の場合以上に理由付けが大事。弁護士と議論。

15:00 当社から主張する内容の確認  
弁護士との議論を踏まえ、当社の主張を役員にインプット。交渉での想定問答も含めて丁寧に説明。

16:00 テレビ会議で相手方と交渉  
時差があるため遅めの開始。お互いの代表同士でバチバチ交渉。中村は役員の傍らで口添えプラス議事録取り。交渉は生き物、思った通りには進まないもの。お互いに譲れない一線は持ち帰り検討。

18:00 交渉議事録の作成  
交渉後、記憶が新しいうちに速やかに議事録作成。

19:00 退社・帰宅  
その日やらなければならない仕事が終わったら退社。読書でくつろぐ。1日のうちに仕事以外のことを考える時間が大事。天候がよいときは町内を走る。

23:00 就寝  
その日を振り返りながら就寝。